

# 川越市観光アンケート調査報告書

令和4年

【2022年1月～12月】

監修：川越市産業観光部観光課  
作成：一般社団法人 DMO川越

# 目次

<b>I 観光アンケート調査の統計・分析</b>	1
1. 調査の趣旨	
2. 調査の概要	
3. 調査の結果	
(1) 出発地	2 (スマートフォン等の位置情報(GPS)に基づく)
(2) 性別	3
(3) 年齢	4
(4) 目的	5
(5) 認知方法	6
(6) 旅行形態	7
(7) 交通手段	8
(8) 来訪回数	9
(9) 滞在期間	10
(10) 観光時間	11 (スマートフォン等の位置情報(GPS)に基づく)
(11) 立ち寄り観光地	12
(12) 観光消費額	13
(13) 要望	16
(14) 満足度	17
<b>II 資料編</b>	
令和4年川越市入込観光客数の概要	18
令和4年川越市外国人入込観光客数の概要	19
令和4年調査のまとめおよび分析	20

# I 観光アンケート調査の統計・分析

## 1. 調査の趣旨

- 観光アンケート調査は、観光客の来訪理由、交通手段、立ち寄り観光地、観光消費額などの基本的な動態を把握することを目的としています

## 2. 調査の概要

- 調査期間: 令和4年(2022年)1月から12月までの1年間
- 調査方法: 株式会社Agoop位置情報サービス及びアンケートサービスによる集計
- 調査対象: 株式会社Agoop位置情報アンケートサービスの利用者の内、令和4年(2022年)1月～12月の期間に観光目的で川越市に来訪したと回答した3,349件 (※有効回答: 2,969件)

### ※ 調査方法の変更について

令和2年(2020年)までの調査は対面聞き取り調査を行っていましたが、令和3年(2021年)調査からインターネット経由の電子回答に変更を行っているため、令和2年以前の調査結果と単純な比較はできません。

### ※ 有効回答について

アンケート全問に回答し、且つ基準から外れた値の無いものを有効回答としています。

### 3. 調査の結果

※構成比については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

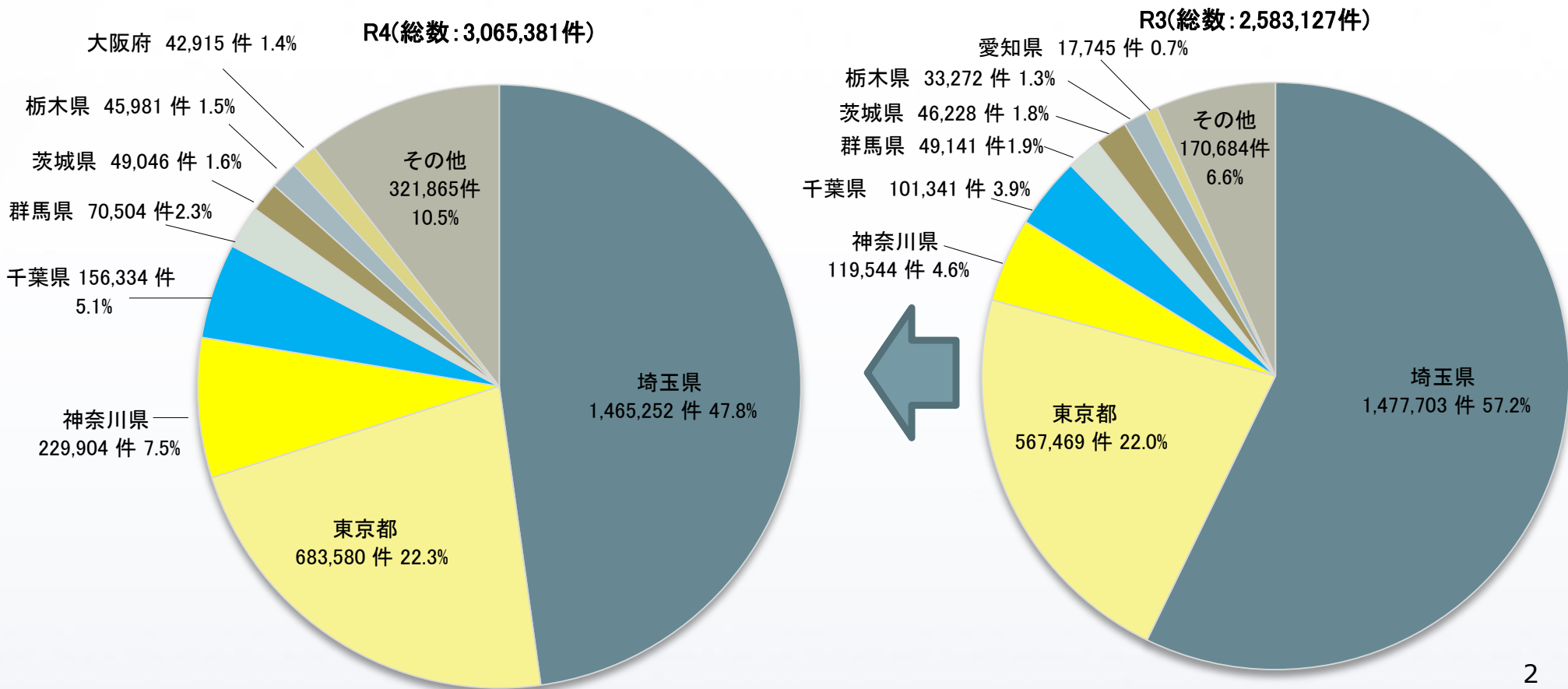
※「R4」は令和4年、「R3」は令和3年を指します。

○埼玉県外からの観光客の割合が令和3年より約10%増加しています。(42.8%→52.2%)

○新型コロナウイルス感染症の影響がやや緩和したことが要因と考えられます。

#### (1)出発地

#### ■都道府県別カウント結果

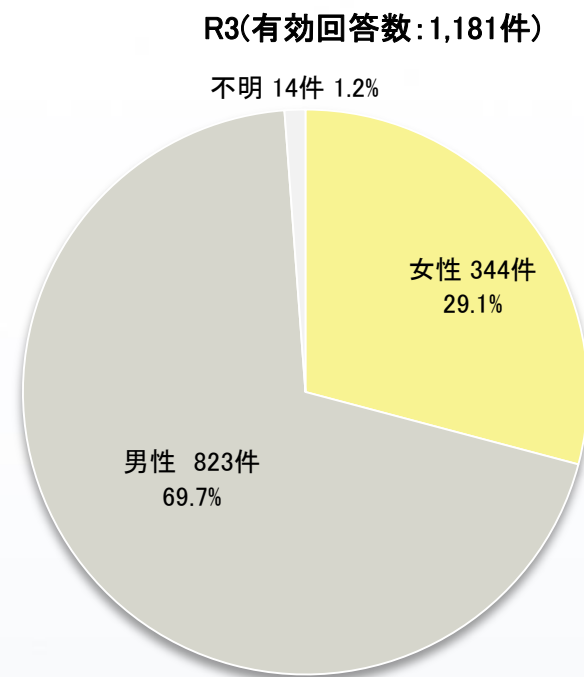
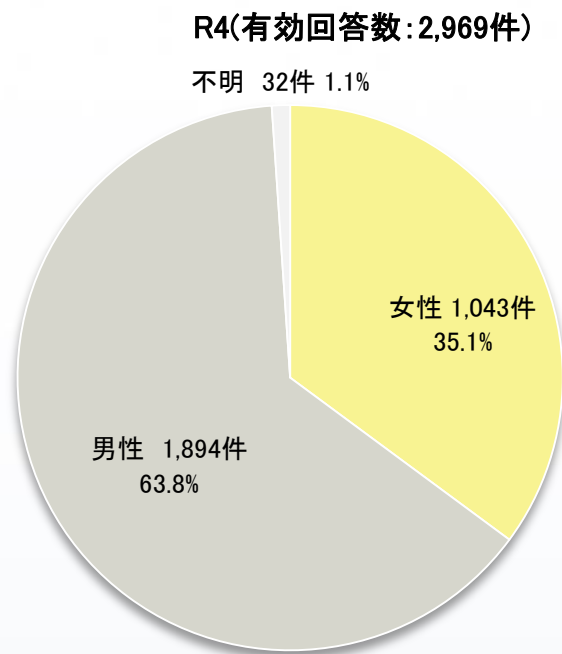


## (2)性別

○女性: **1,043人 (35.1%)**

○男性: **1,894人 (63.8%)**

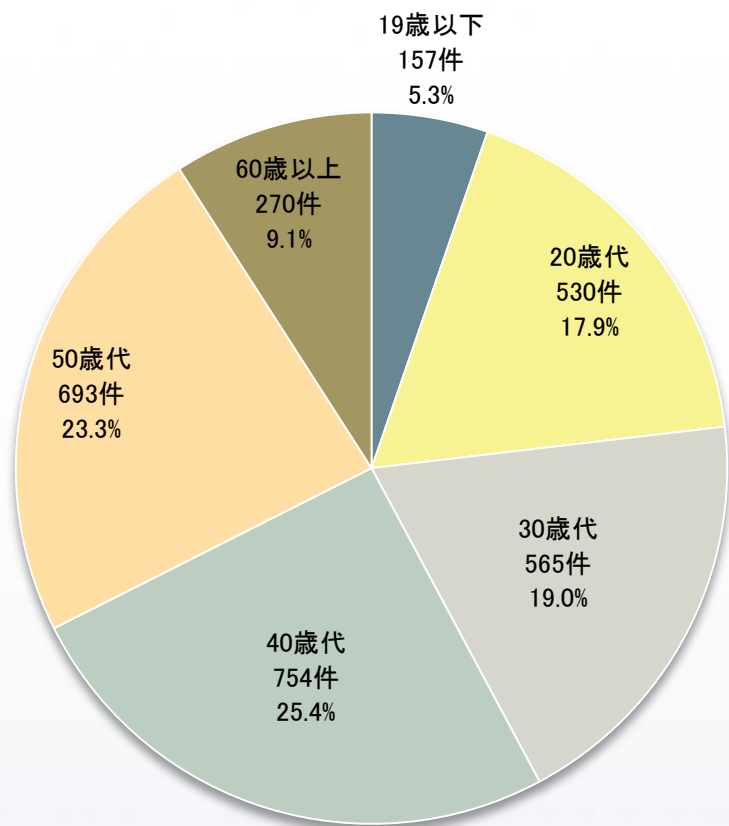
○令和3年に比べて令和4年は女性比率がやや増加しました。



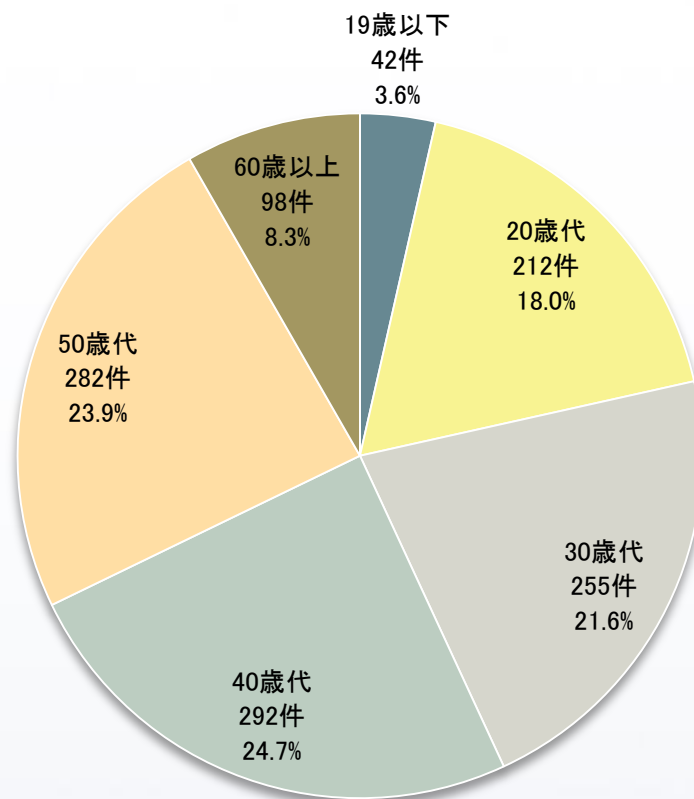
### (3)年齢

○新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、令和3年に減少した19歳以下の若年層と60歳以上の高齢層がやや回復しました。

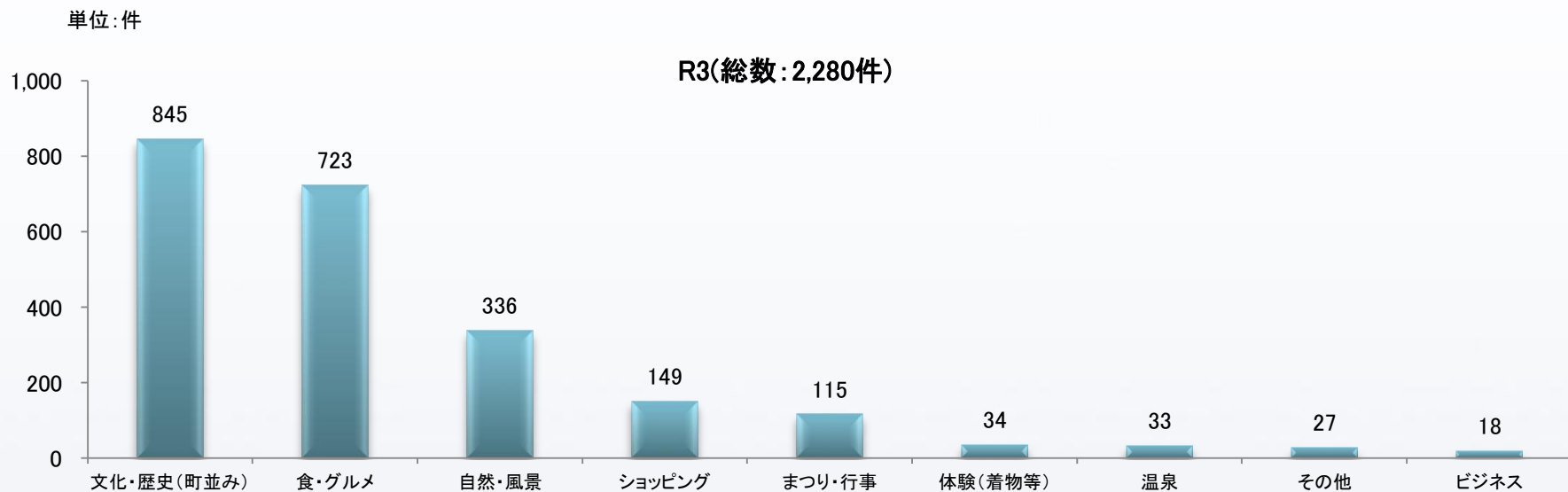
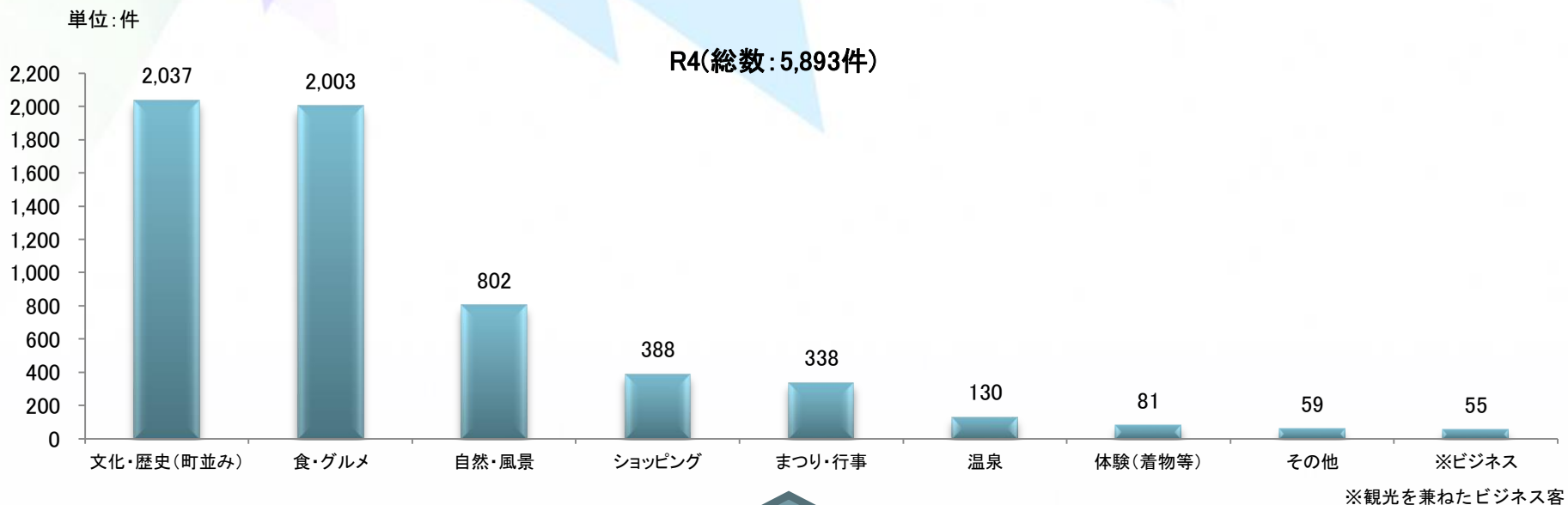
R4(有効回答数:2,969件)



R3(有効回答数:1,181件)



## (4)目的(複数回答可)

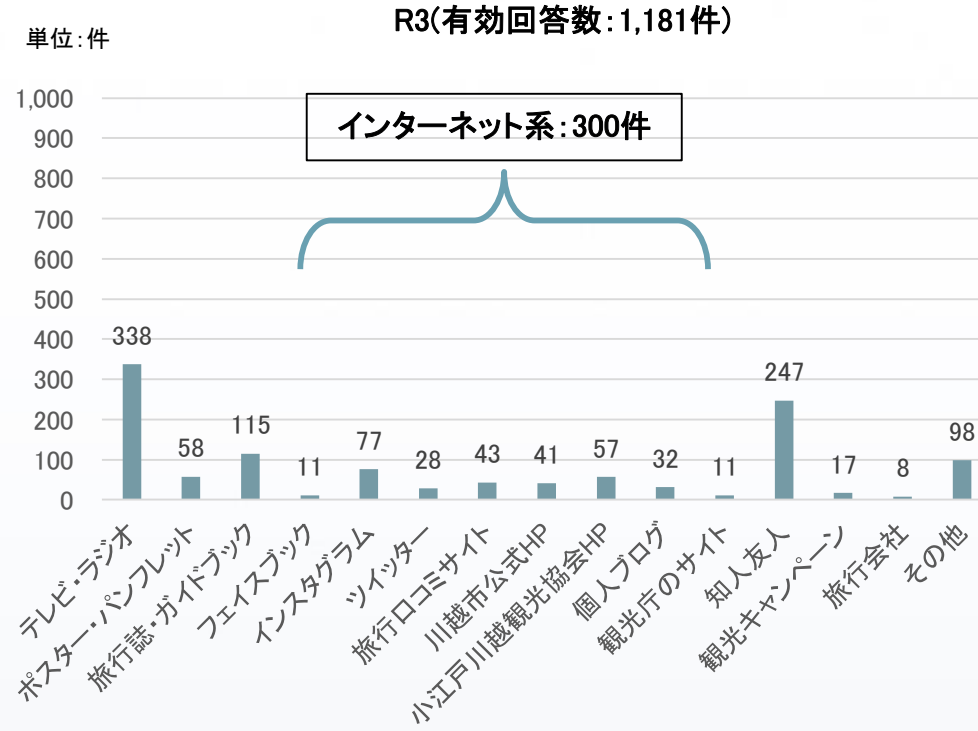
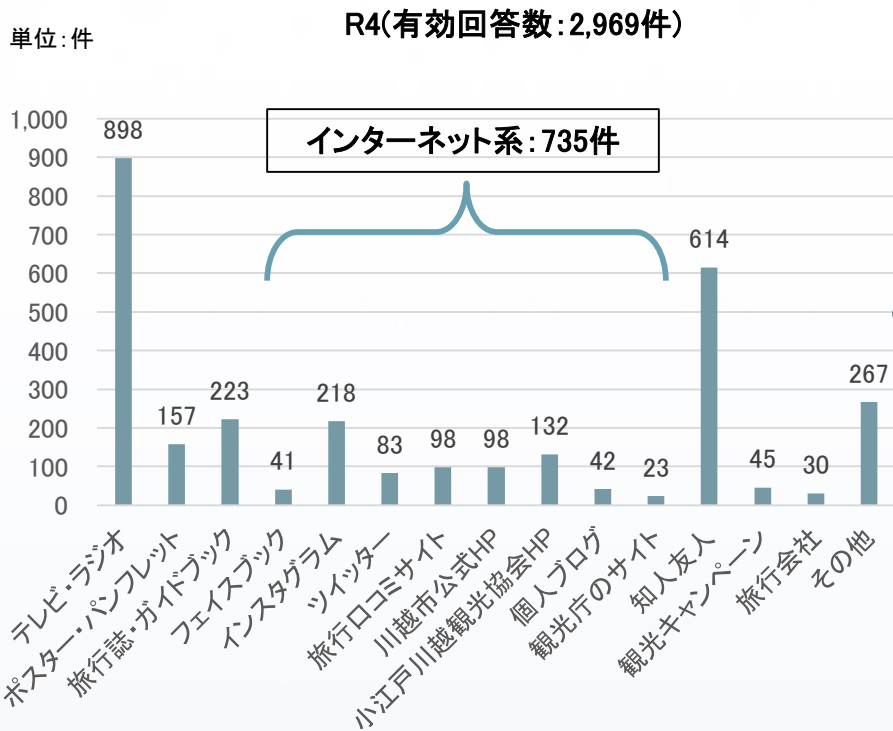


## (5)認知方法

○テレビ・ラジオの割合が1位。令和3年(28.6%)に比べて微増の30.2%。

○インターネット系※1の割合は年々増加してきましたが、令和3年(25.4%)から令和4年(24.8%)にかけては、変化が少なくなっています。

○SNS※2では、インスタグラムが最多となっています。



※1 インターネット系とはSNSやウェブサイト等のインターネットを經由して情報発信・収集ができるツールのことを指しています。

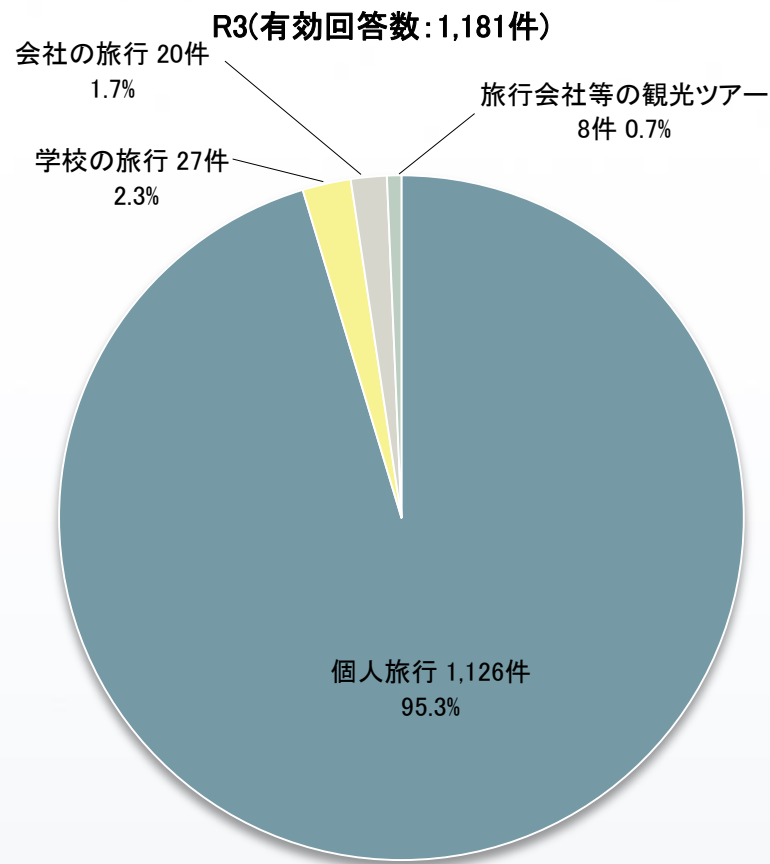
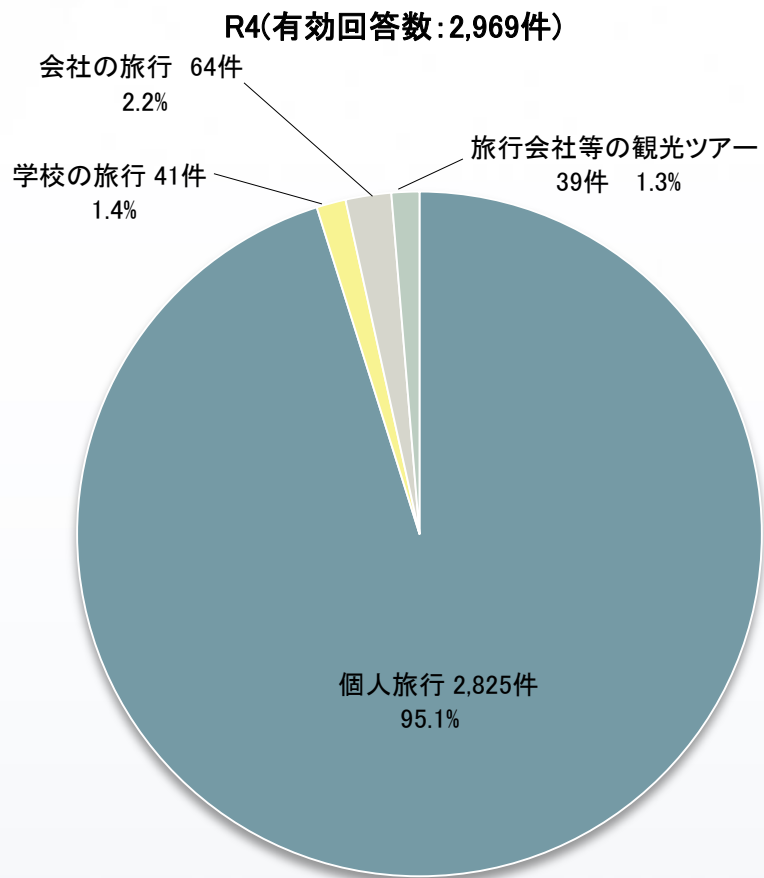
上図のフェイスブックから観光庁のサイトまでの8種類。

※2 SNSとは本文中、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターの3つを指しています。



## (6)旅行形態

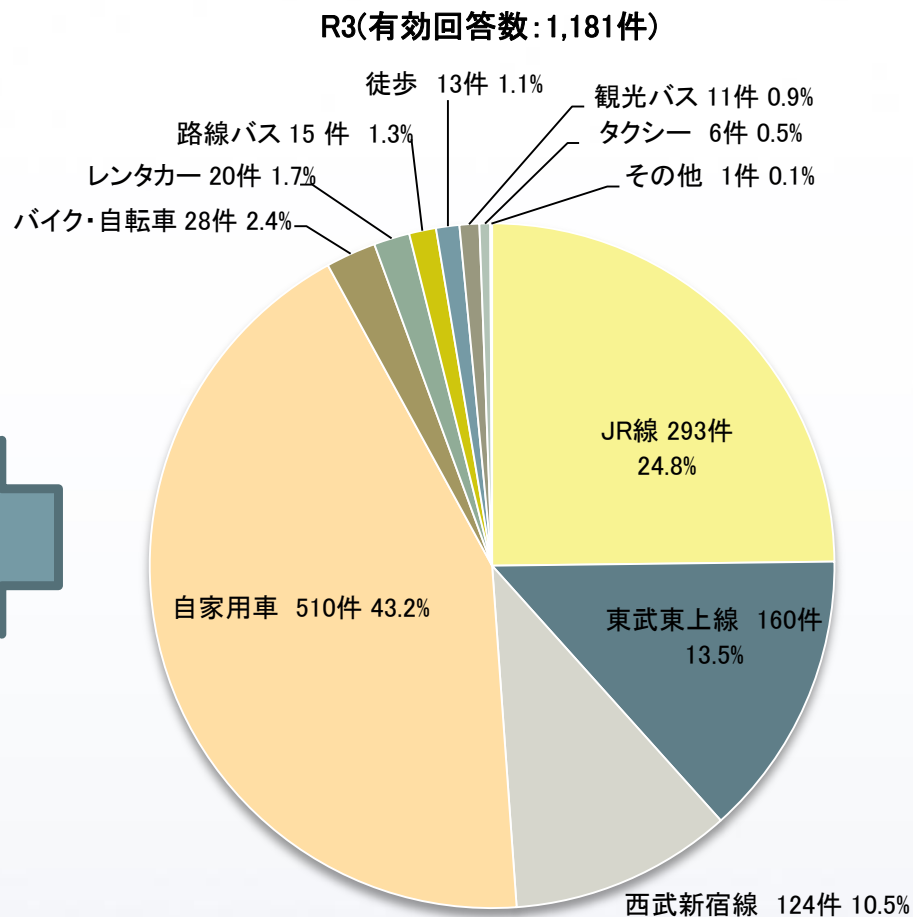
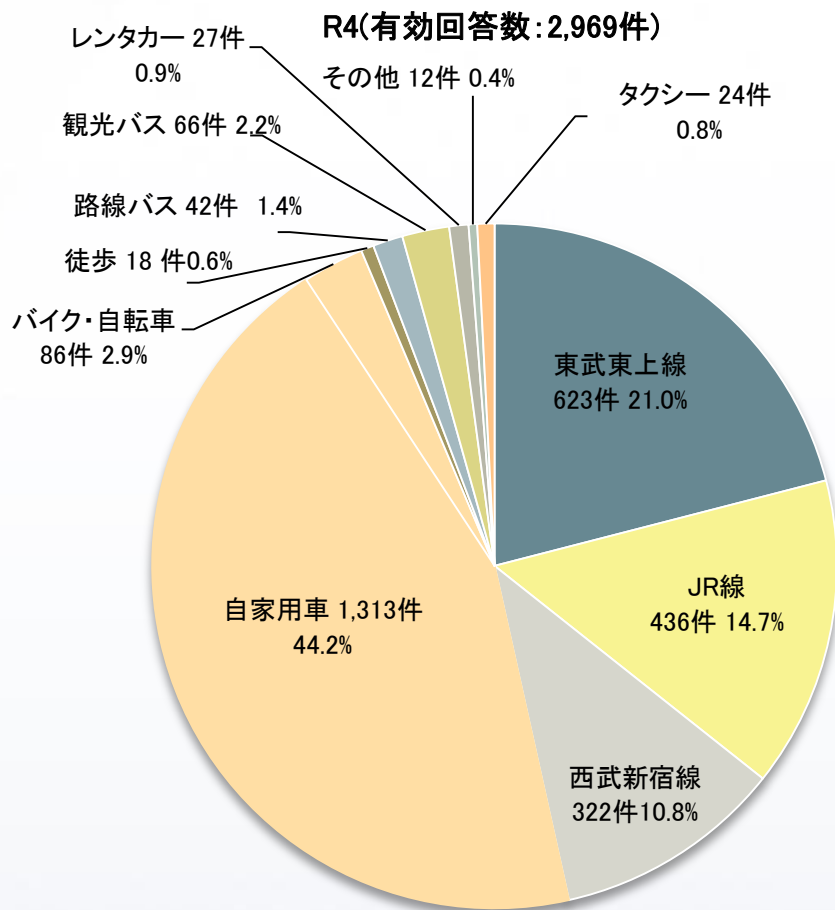
○個人旅行がほぼ全て(95.1%)を占めています。



## (7)交通手段

○令和4年は、川越までの交通手段として、鉄道(46.5%)と自家用車(44.2%)の利用が9割を占めています。

○令和4年の前年と比べた変化は、鉄道利用者全体の割合は大きく変わりませんが、JR線の利用割合が減少し、東武東上線の利用割合が増加しています。

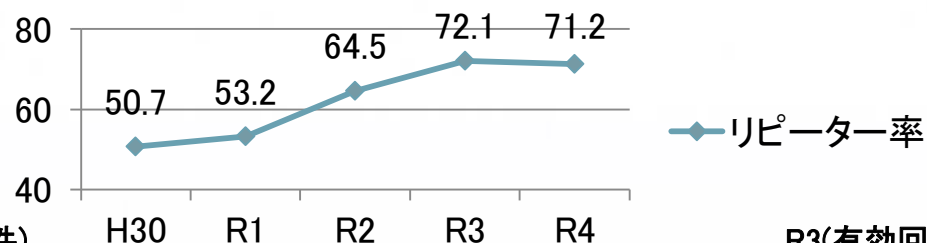


## (8) 来訪回数

○リピーター（来訪回数2回以上）の総数は令和3年（852件）から令和4年（2,114件）と大きく増加していますが、割合は72.1%から71.2%となり、令和3年に比べて微減しています。

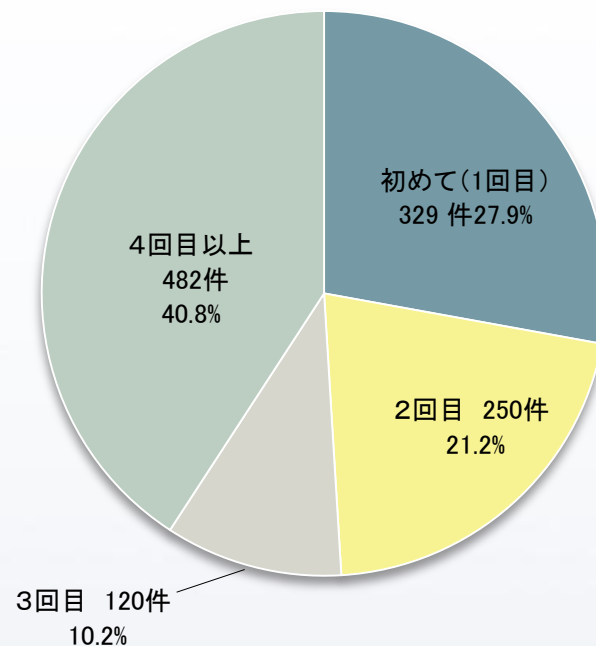
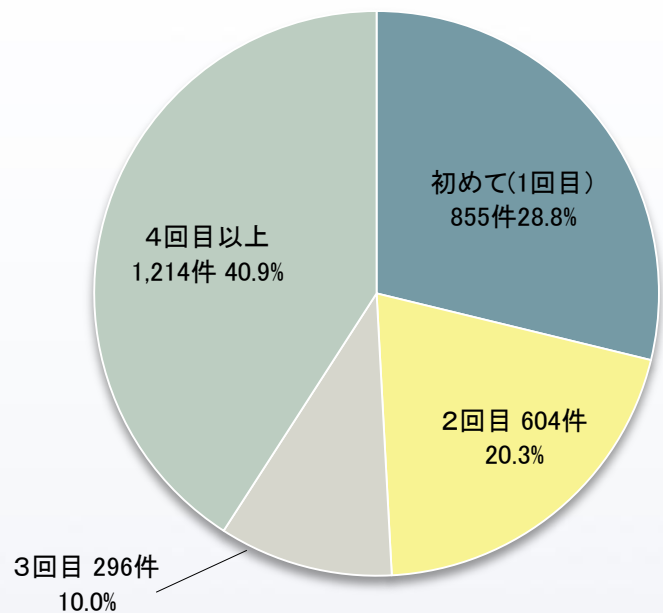
○前年と同様、来訪回数4回以上が最も多い結果となりました。

単位：%



R4(有効回答数:2,969件)

R3(有効回答数:1,181件)

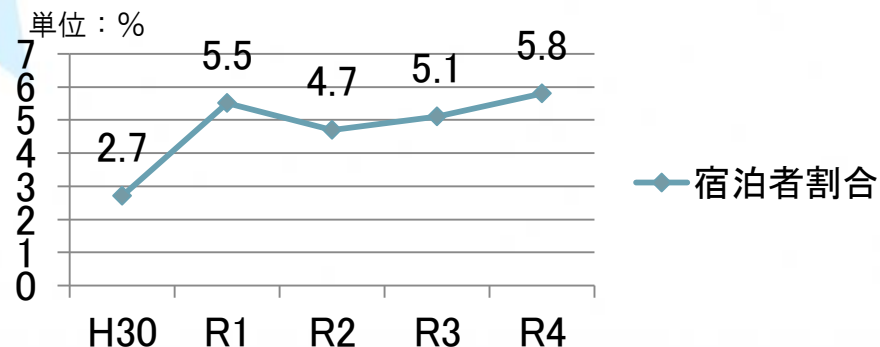


## (9)滞在期間（来訪者の滞在パターン）

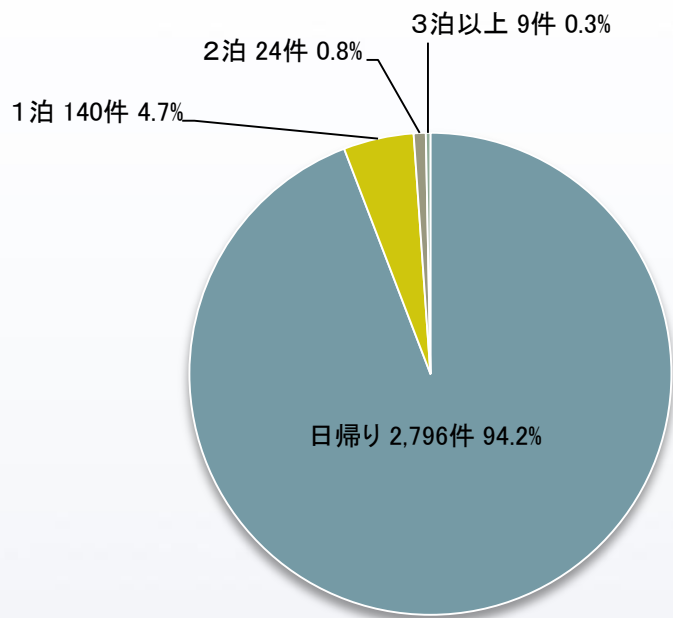
○日帰りの割合：**94.2%**（昨年：**94.9%**）

○宿泊者の割合：**5.8%**（昨年：**5.1%**）

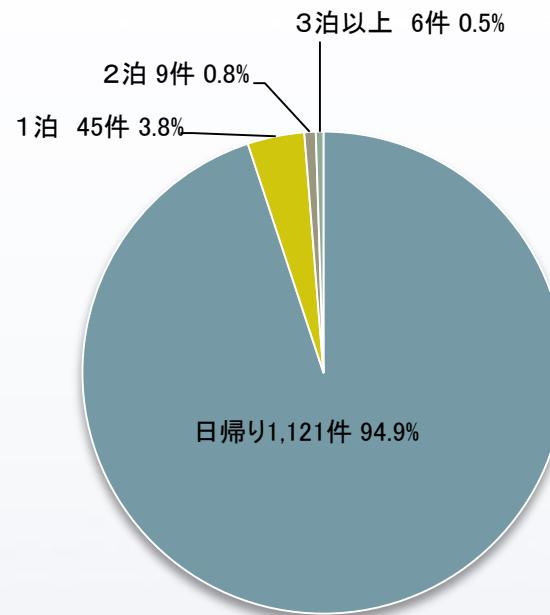
○宿泊者割合がやや増加しています。



R4(有効回答数:2,969件)



R3(有効回答数:1,181件)



## (10)観光時間

### ■滞在時間別カウント結果

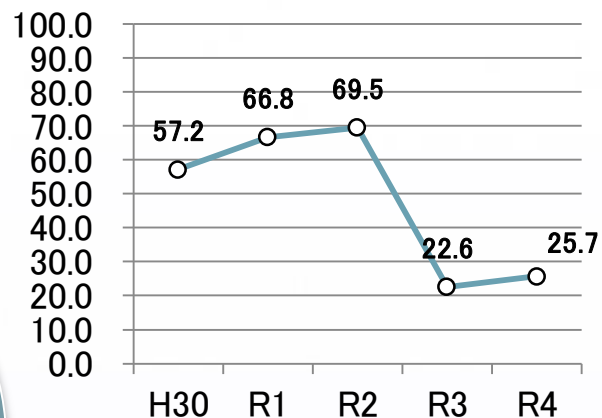
○一番街周辺、氷川神社周辺、喜多院周辺、伊佐沼周辺の4エリアに滞在した時間(※)を調査しました。

○半日以上(4時間以上)の割合が前年比で3.1%増加しました。

参考

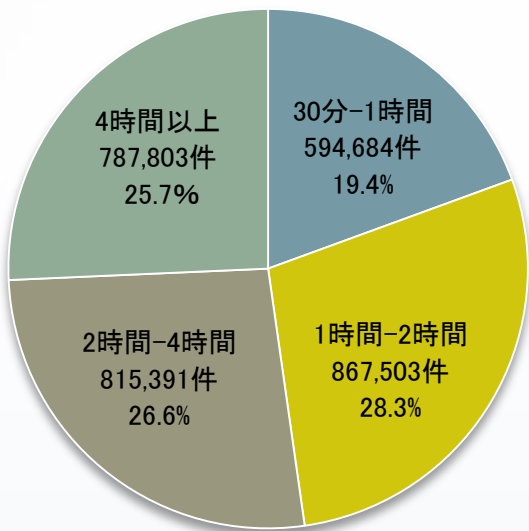
【半日以上(4時間以上)の観光客の割合の推移】

単位：%

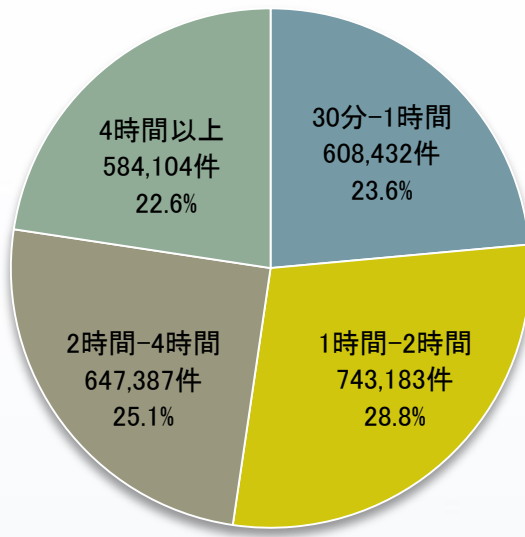


令和3年からスマートフォン等の位置情報(GPS)を活用した集計方法に変更

R4(総数: 3,065,381件)



R3(総数: 2,583,106件)

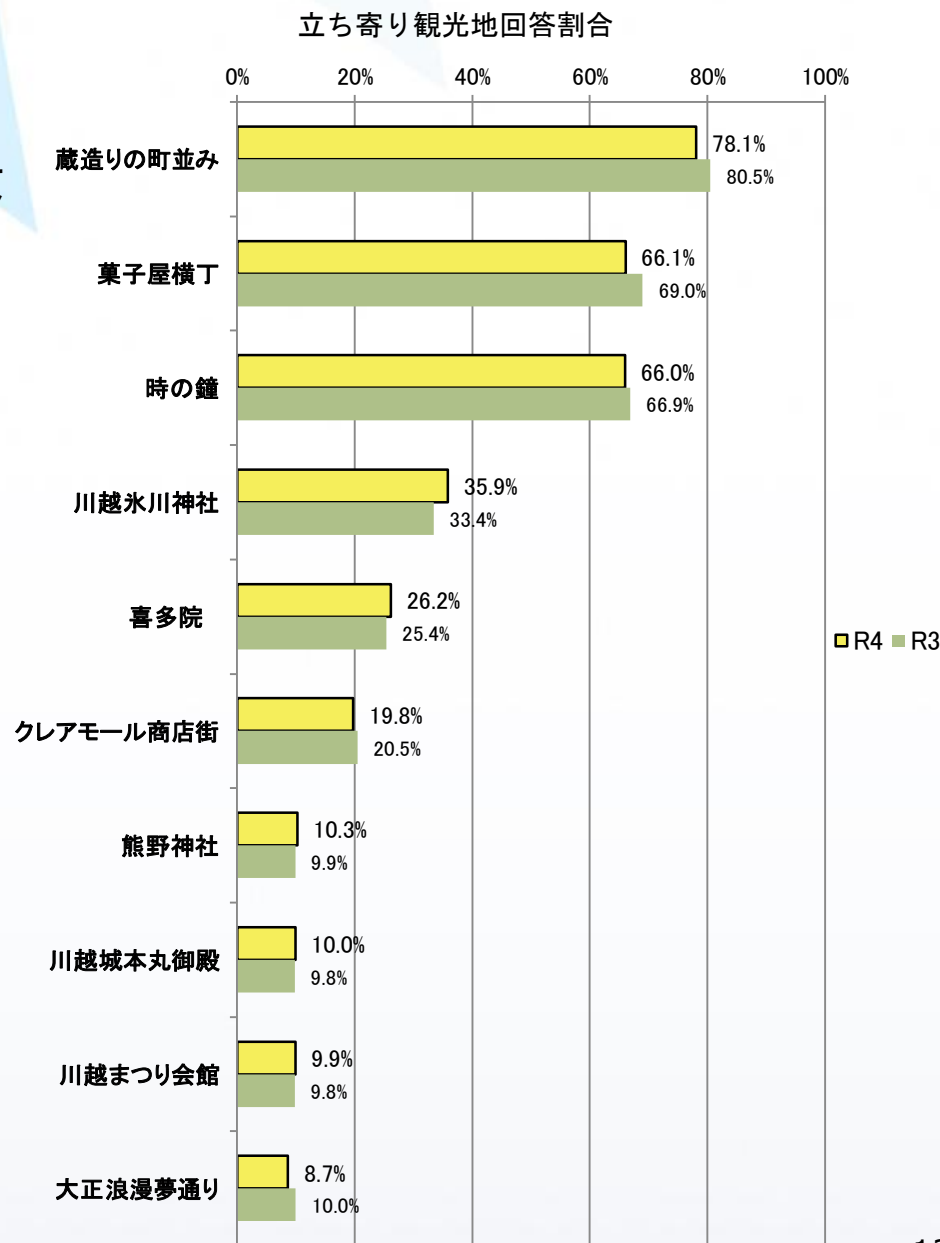
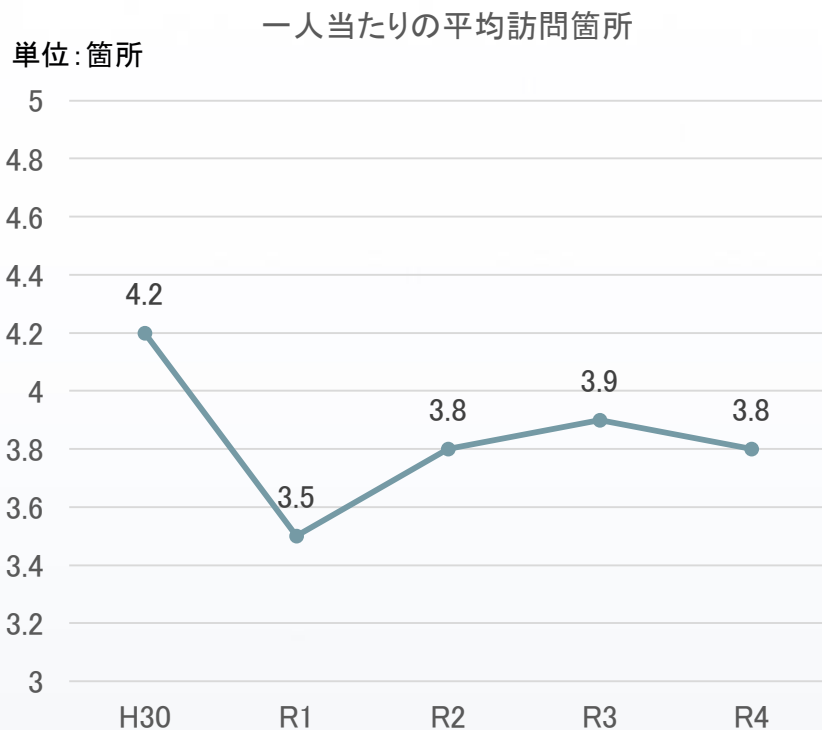


※滞在した時間の定義:GPSデータに基づき、当該エリアに30分以上滞在した観光客(市内居住者・通勤者を除く)を集計しています。

### (11) 立ち寄り観光地(複数回答)

○立ち寄り場所が蔵造りの町並み、菓子屋横丁、時の鐘があるエリアに集中しています。

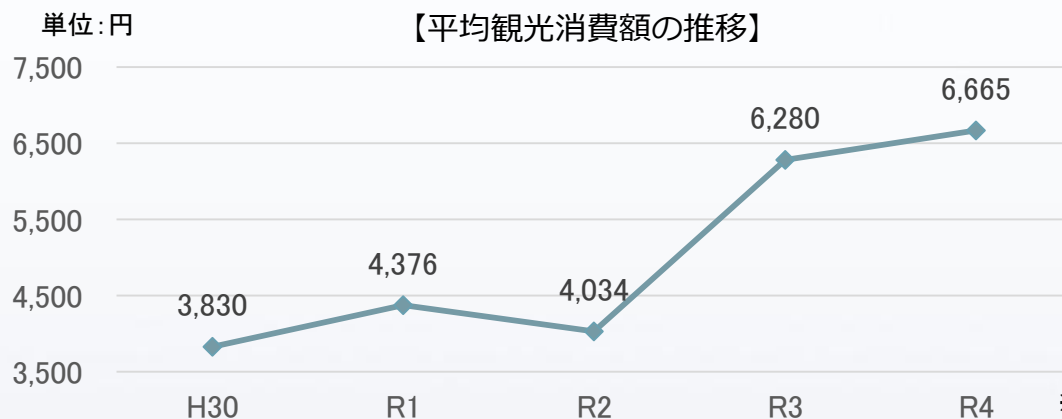
○一人当たりの平均訪問箇所数は概ね横ばいでした。



## (12) 観光消費額

### 【令和4年の消費項目別の平均観光消費額】

項目	調査人数 (0円消費を除く)	日帰り客 平均消費額	宿泊客 平均消費額	平均消費額	昨年の平均消費額
交通費	2,207人	1,648円	2,484円	<b>1,694円</b>	1,729円
宿泊費	124人	—	8,293円	<b>8,293円</b>	8,079円
飲食費	2,755人	3,296円	5,569円	<b>3,414円</b>	3,094円
お土産品購入費	1,855人	2,236円	3,019円	<b>2,278円</b>	2,105円
入館料・入場料	599人	924円	1,021円	<b>932円</b>	966円
体験	115人	3,275円	3,460円	<b>3,294円</b>	2,350円
その他	144人	2,983円	5,112円	<b>3,117円</b>	1,972円
平均		6,150円	14,975円	<b>6,665円</b>	6,280円



※令和3年から調査方法を変更しています。

【観光消費額 項目別】 各項目について1円以上消費した人のみで平均消費額を算出

■川越市内での交通費

- 一人あたり平均交通費 **1,694円**
- 全有効回答数2,969件に対する  
支出した人の割合 74.3%

■入館料・入場料

- 一人あたり平均入館料・入場料 **932円**
- 全有効回答数2,969件に対する  
支出した人の割合 20.2%

■川越市内での宿泊費

- 一人あたり平均宿泊費 **8,293円**
- 全有効回答数2,969件に対する  
支出した人の割合 4.2%

■お土産品購入費

- 一人あたり平均お土産品購入費 **2,278円**
- 全有効回答数2,969件に対する  
支出した人の割合 62.5%

■飲食費

- 一人あたり平均飲食費 **3,414円**
- 【飲食費の内訳】
- 平均飲食費(朝) **946円**
- 平均飲食費(昼) **1,815円**
- 平均飲食費(夜) **2,747円**
- 平均軽食費 **1,027円**
- 全有効回答数2,969件に対する  
支出した人の割合 朝9.8% 昼82.1% 夜30.6%  
軽食72.5%

■体験

- 一人あたり平均体験料(レンタル着物等) **3,294円**
- 全有効回答数2,969件に対する  
支出した人の割合 3.9%



## 【経済効果試算の推移】

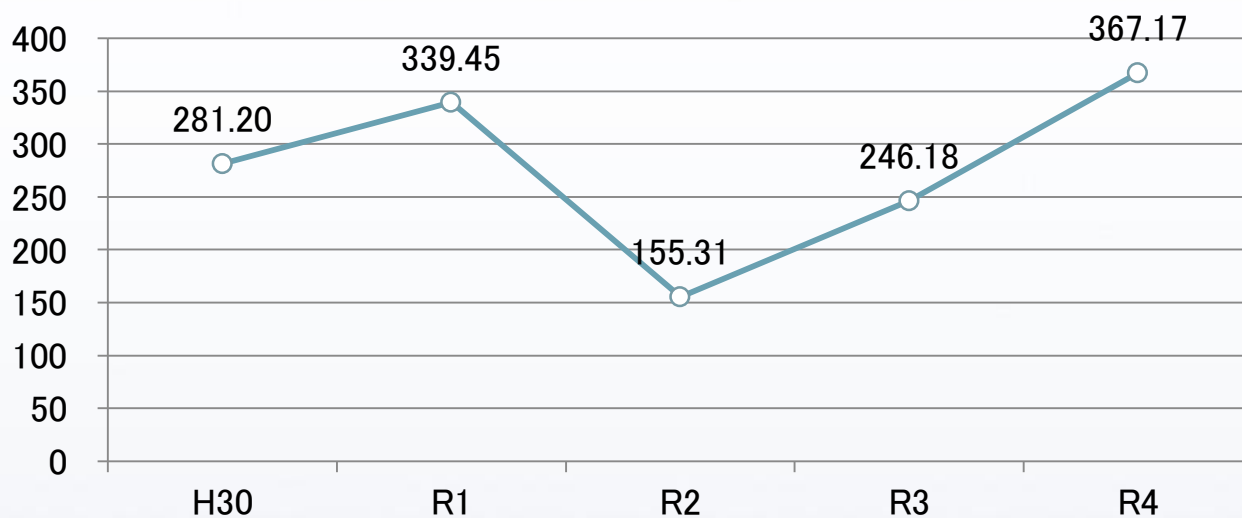
○令和4年の観光消費総額は

**367.17億円**（平均消費額6,665円 × 入込観光客数5,509,000人）

○令和3年は、246.18億円（平均消費額6,280円 × 入込観光客数392万人）であったことから、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されて、令和4年は前年比148.9%と大幅に伸びています。

### 【観光消費総額の推移】

単位：億円

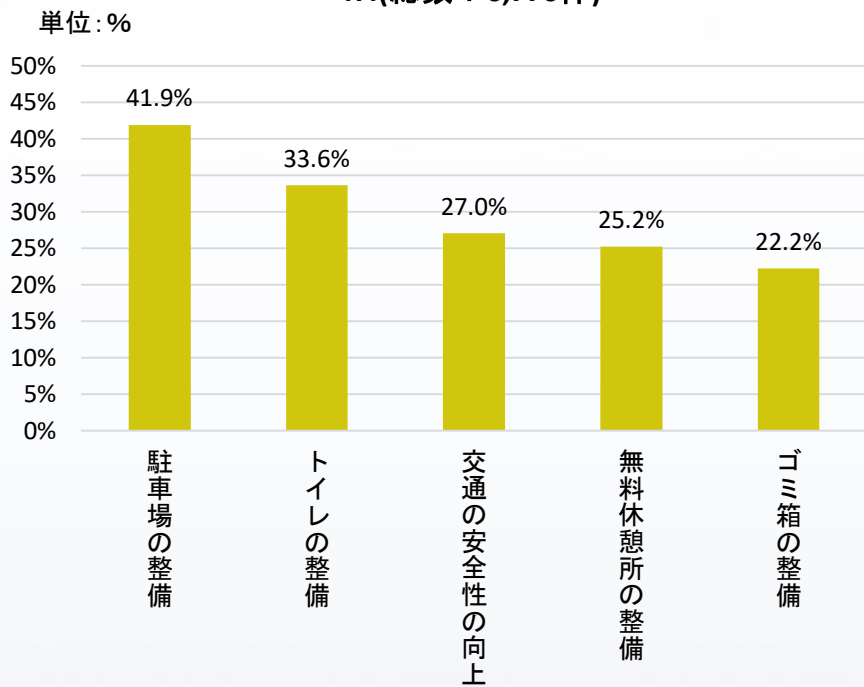


### (13) 要望

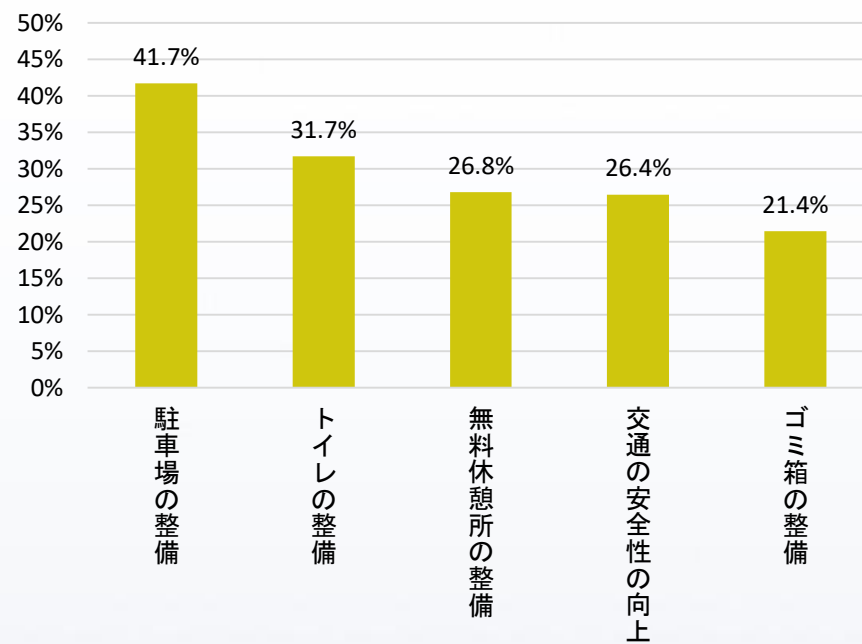
- 1位は駐車場の整備(41.9%)
- 2位は「トイレの整備」(33.6%)
- 3位は「交通の安全性の向上」(27.0%)

### 【観光客からの要望(複数回答)】

R4(総数：6,770件)

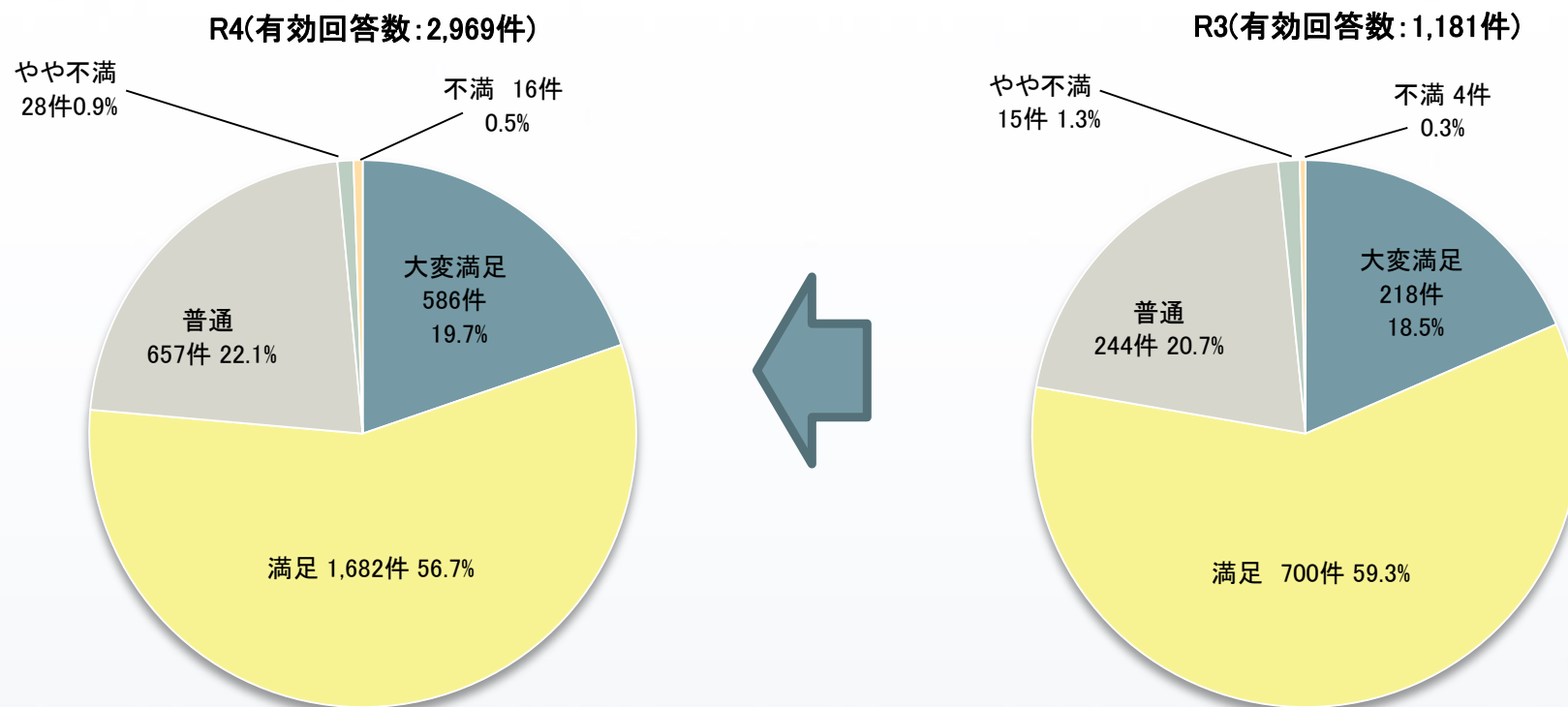


R3(総数：2,894件)



## (14) 満足度

○「満足」以上の回答が76.4%で昨年の77.8%から1.4%減少しました。



## 資料編 令和4年川越市入込観光客数の概要

○入込観光客数：**550万9千人**

○新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛要請のため過去のピーク時より減少しましたが回復しつつあります。

### 埼玉県まん延防止等重点措置の推移

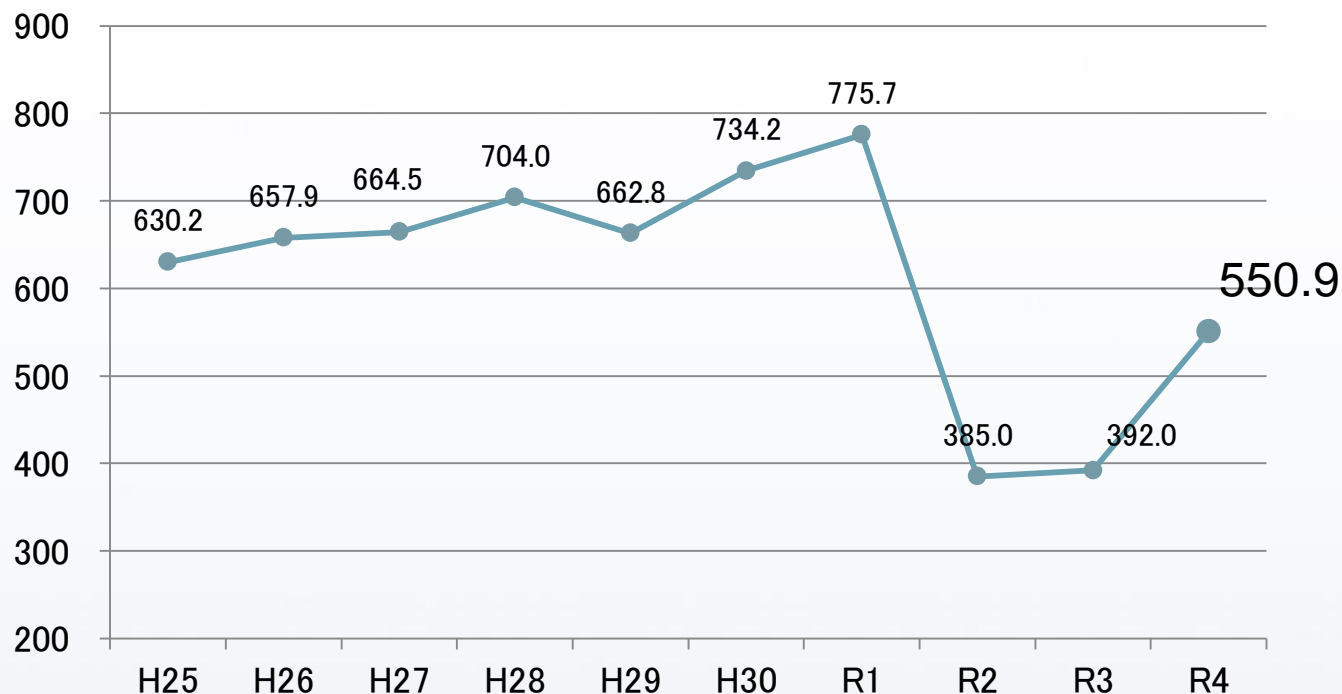
まん延防止等重点措置（2回目）（全63市町村）令和4年1月21日～2月13日

まん延防止等重点措置（2回目）延長（全63市町村）令和4年2月14日～3月6日

まん延防止等重点措置（2回目）延長（全63市町村）令和4年3月7日～3月21日

単位：万人

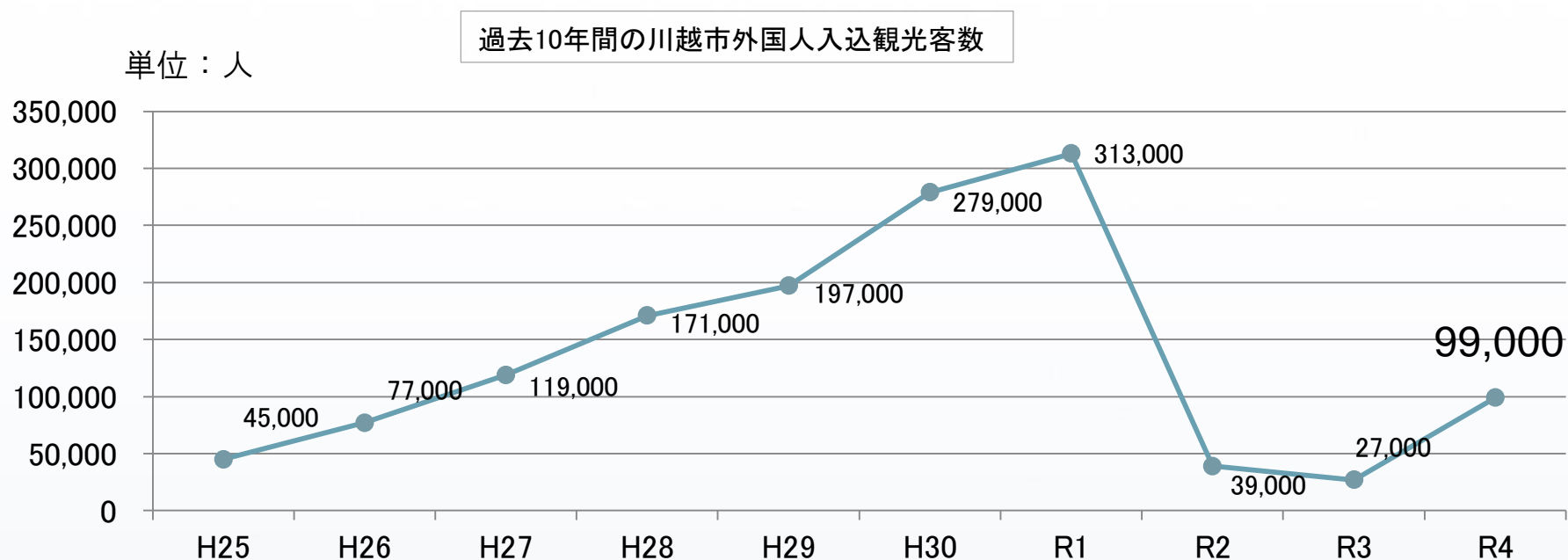
過去10年間の川越市入込観光客数



## 資料編 令和4年川越市外国人入込観光客数の概要

○外国人観光客数：**9万9千人**

○新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、令和2年以降大幅に減少しましたが、外国人観光客の入国制限が令和4年10月に緩和されたことを受け、回復傾向が見られました。



# 令和4年調査のまとめおよび分析

## <令和4年の入込観光客の特徴>

- (1)新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのまん延防止等重点措置が令和4年1～3月にかけて発令された影響等により、入込観光客数は新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年の70%程度でしたが、令和3年(392万人)より回復傾向を見せ、550万9千人となりました。外国人入込観光客数については、令和4年10月に入国制限の緩和措置が図られたため、回復が進みました。
- (2)来訪者の出発地については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、マイクロツーリズム※の傾向が見えていましたが、令和4年は県外からの客が若干増えつつあります。
- (3)来訪者の年齢層については、全年齢層に均等に分散しており、老若男女が楽しめる観光地としての特性が現れています。観光目的では、引き続き、「文化・歴史(町並み)」や「食・グルメ」などが高く、川越市の観光の強みになっていると考えられ、また、旅行形態は個人旅行がほぼ全て(95.1%)を占めています。
- (4)認知方法については、「テレビ・ラジオ」が1位。続いて、「インターネット系」は近年増加傾向にありましたが、令和4年は大きな変化は見られませんでした。その他、「友人・知人」や「旅行誌・ガイドブック」、「ポスター・パンフレット」、なども重要な認知方法であると考えられます。

※ コロナ禍において提唱された、三密(密閉・密集・密接)を避けながら、地元や近隣地域で安全安心に過ごす旅行を指す。

(5)川越までの交通手段については、鉄道(46.5%)と自家用車(44.2%)の利用が多くを占めており、自家用車の利用が多いことは、アンケートによる要望調査で「駐車場の整備」が最も多かったことへの裏付けになっていると考えられます。しかしながら、「駐車場の整備」は交通渋滞や交通安全上の課題への対策を踏まえて要望に対応する必要があります。

(6)来訪回数については、「初めて」と答えた者が3割以下(28.8%)、「2回以上」来訪しているリピーターは71.2%でした。リピーターの中でも「4回以上」と答えた方が最も多く、好ましい姿を実現しているといえます。

(7)滞在期間については、日帰り(94.2%)と宿泊(5.8%)の割合に20倍近くの開きがあり、圧倒的に日帰り観光客が多い現状です。伸びしろが大きい夜間のナイトタイムエコノミーを増やしていくには、質の高い夜間のアクティビティの増加を図るとともに、宿泊施設の多様化や魅力向上を進めていく必要があります。

(8)観光客1人当たりの平均消費単価については、宿泊客が14,975円、日帰り客が6,150円でした。一方、観光庁による「旅行・観光消費動向調査」(2021年)では、日本人国内旅行の1人1回当たり旅行支出のうち、宿泊旅行が49,323円/人、日帰り旅行が17,328円/人であり、川越と国内全体とで大きな差が生じていることから、上記(7)による宿泊率の向上及び滞在時間の延伸を図りながら、消費単価の向上を継続して進めていく必要があります。

(9)立ち寄り観光地点については、「蔵造りの町並み」、「菓子屋横丁」、「時の鐘」、「川越氷川神社」、「喜多院」などの地点に多くの方が立ち寄っていますが、「川越まつり会館」、「川越城本丸御殿」、「川越市立博物館」など、川越の歴史等を伝える観光・教育施設への立ち寄り割合が低いことから、周遊性を高めるためのプロモーションを推進する必要があります。

# 川越市観光アンケート調査報告書 令和4年【2022年1月～12月】

令和5年3月作成

監修：川越市産業観光部観光課  
作成：一般社団法人DMO川越



川越市産業観光部観光課  
〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1  
TEL 049-224-5940(直通)  
FAX 049-224-8712